

1. 第三者評価報告概要表

作成日 平成21年10月13日

【評価実施概要】

事業所番号	2871200503		
法人名	社会福祉法人三翠会		
事業所名	グループホーム薬師のさと		
所在地	三田市下相野薬師尾1460 - 1 (電話) 079 - 568 - 0894		
評価機関名	株式会社H.R.コーポレーション		
所在地	兵庫県西宮市甲陽園本庄町6番8-102号		
訪問調査日	平成21年8月26日	評価結果確定日	平成21年11月19日

【情報提供票より】 (21年7月31日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成16年4月1日		
ユニット数	2ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	15 人	常勤8人, 非常勤7人, 常勤換算14人	

(2) 建物概要

建物構造	鉄骨 造り
	3階建ての 1~2 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	29,800 円	その他の経費(月額)	15,000 円	
敷 金	有(円)	(無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円) (無)	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり	1,100 円		

(4) 利用者の概要 (7月31日現在)

利用者人数	18 名	男性	3 名	女性	15 名
要介護1	3	要介護2	6		
要介護3	5	要介護4	3		
要介護5	1	要支援2	0		
年齢	平均 84 歳	最低	75 歳	最高	90 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	富田クリニック・青空クリニック・三田高原病院 平島病院・吉原歯科
---------	-------------------------------------

【第三者評価で確認されたこの事業所の特徴】

自然に恵まれた施設は、施設全体が落ち着いた和風の造りになっており、玄関・共有空間には観葉植物・花を飾り、過度な飾り付けがなく親しみのある落ち着いた雰囲気である。理念にご利用者の尊厳を掲げ、家庭的な環境づくりの中で利用者の自立支援を行っている。日々の生活の中で決まった計画は作らず、利用者一人ひとりの身体状況や希望・気分に合わせて合わせた支援の中で穏やかに過ごされている。定期的な往診・緊急時の受診や往診も整備されており、また、認知症については精神科の医師の往診も可能となっている。更に薬剤師による薬剤管理・歯科衛生士による定期的な口腔ケア・特養の看護師とも連絡体制が整っており相談や支援等健康管理面も充実している。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:第三者4)
	<p>昨年の評価結果は、玄関に設置し家族や職員へ公表するようにしている。昨年の評価結果を基に介護計画書の見直し・改善に取り組み、介護計画に沿ったケアの実践ができています。</p> <p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:第三者4)</p> <p>今年度の自己評価は、全職員に記載してもらい管理者がまとめて自己評価を作り上げた。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:第三者4,5,6)</p> <p>運営推進会議へ市職員の参加があり、ホームの状況を把握してもらっている。ホームの状況などが記載された法人の機関紙「さんすいだより」を市にも配布し、交流・連携を持てるように取り組んでいる。</p>
	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:第三者7,8)</p> <p>ケアプラン提示時に、意見・要望を記載する用紙を手渡している。出された意見や要望には電話で報告している。毎月利用者別に身体状況・生活状況・レクリエーションの参加状況などを含めて経過記録を細かに書面化し家族に報告している。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:第三者3)</p> <p>地元の夏祭り・秋祭りや敬老会に出向き交流を持つようにしている。また地域のボランティアグループに来訪を依頼している。併設の施設合同の納涼大会には近隣の方の参加があり交流を持っている。秋祭りには、獅子舞の来訪もあり交流を持っている。</p>

2. 第三者評価報告書

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	利用者がその人らしく暮らし続けることを理念に盛りこんだ理念を掲げている。現在地域密着型サービスとして地域との交流を持つように取り組んでいるが、文言としては盛り込めていない。		法人理念を元に地域密着型サービスとしての役割を盛り込んだホーム独自の理念として作り上げることが望まれる。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員の移動が少なく職員は、理念を理解しケアに活かすように取り組むことを心がけている。		地域密着型としての役割を盛り込んだ理念を作り上げ職員で共有しケアの実践に活かしていく取り組みを期待する。ミーティングの中で折りにふれ理念について話をし浸透を図るよう努力することを期待する。
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地元の夏祭り・秋祭りや敬老会に出向き交流を持つようにしている。また地域のボランティアグループに来訪を依頼している。併設の施設合同の納涼大会には近隣の方の参加があり交流を持っている。秋祭りには、獅子舞の来訪もあり交流を持てている。		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び第三者評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>昨年の評価結果は、玄関に設置し家族や職員へ公表するようにしている。昨年の評価結果を基に介護計画書の見直し・改善に取り組み、介護計画に沿ったケアの実践ができている。今年度の自己評価は、全職員に記載してもらい管理者がまとめて自己評価を作り上げた。</p>		
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>市職員、民生委員、利用者代表者、地域住民、が参加し概ね2ヶ月に1回実施している。会議では、ホームの状況を報告し参加者からの質問や情報提供、意見など活発な意見交換が出来ている。</p>		<p>運営推進会議を年6回実施することが望ましい。</p>
6	9	<p>市町との連携</p> <p>事業所は、市町担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>運営推進会議へ市職員の参加があり、ホームの状況を把握してもらっている。ホームの状況などが記載された法人の機関紙「さんすいだより」を市にも配布し、交流・連携を持つよう取り組んでいる。</p>		<p>評価結果を基に施設の改善計画も沿えて提出し、より情報提供と共有を深める取り組みを期待する。</p>

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>毎月利用者別に身体状況・生活状況・レクリエーションの参加状況などを含めて経過記録を細かに書面化し家族に報告している。経過記録には、担当職員が文書で日々の様子を記載している。郵送時には、行事予定や「さんすいだより」も同封している。機関紙「さんすいだより」は年4回発行している。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>ケアプラン提示時に、意見・要望を記載する用紙を手渡している。出された意見や要望には電話で報告している。</p>		<p>出された意見や要望に積極的に対応し改善に取り組みされている為、今後は書面化し記録として残していくことが望ましい。</p>
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>馴染みの関係を重視して職員はフロアー固定している。フロアー間の交流をより深めホーム全体の馴染みの関係作りが課題であると考え検討している。「さんすいだより」に職員の移動・入職を掲載している。この1年職員の退職がなく定着している。</p>		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>ホーム自体の年間の研修計画は作成している。法人全体での職員研修に参加している。法人全体で委員会制度をとっており、研修委員会で年間の研修計画を職員への研修希望アンケートを基に立てている。外部研修へ参加した職員が講師となり法人で研修を実施している。研修は同じ研修を2回実施し全職員が参加できるように取り組んでいる。</p>		
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>グループホームの連絡協議会が昨年4月に開始され、管理者・運営者が参加している。今後グループホーム職員の交流の必要性も感じている。</p>		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>家族からの利用申し込みがあれば、多くのグループホームを見学に行くことを勧めている。利用者・家族に見学に来てもらっている。利用者の状況により職員が自宅へ訪問し利用者・家族が納得して利用開始が出来るよう取り組んでいる。</p>		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	利用者と共に過ごし支えあう関係 職員は、利用者を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、利用者から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者のできること・できないこと・役割などを見極め共に過ごす中で生活習慣や食事など色々なことで利用者より教えられることも多くある。		
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者の思いや意向を尋ね、利用者の言葉そのままを記録し、言葉や表情・行動から利用者の思いや意向を把握するように努めている。利用者個々の状況によりセンター方式の用紙を使い分けている。アセスメントの段階からセンター方式の用紙選択を含め職員も参加している。		
2. より良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	チームでつくる利用者本位の介護計画 利用者がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	普段の関わりの中での気づきをメモに残し、ケアプランに活かしていくように取り組んでいる。把握した情報を基に個別具体的な介護計画を作成している。		


第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、利用者、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>今年度からホーム全体でケース検討会議を実施している。職員会議の中で利用者一人ひとりの状況を把握し計画の変更の必要性について話し合いがなされているが、現在記録として残していない。</p>		<p>毎月の計画の見直しの必要性を検討したことを記録として残しておくことが望ましい。</p>
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>利用者や家族の状況、その時々^の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>利用者や家族の状況や希望に応じて買物・外出・受診等可能な限り柔軟に対応している。</p>		
4. より良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>利用者や家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>2週間に1回往診を受けており、状態変化時は受診や往診で適宜対応している。認知症については精神科の医師の往診も可能である。薬は薬局が分包しホームへ届けてもらっている。薬剤師から内服薬の変更や注意や副作用なども説明を受け内服薬の把握も出来ている。定期的に歯科衛生士による口腔ケアに入ってもらっている。特養の看護師とも連絡体制が整っており相談や支援を受けることができる。</p>		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から利用者や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>ターミナルケアを実践した。通院でペインコントロールを行いながらホームでの生活の継続を行った。家族の希望と協力があれば終末期の受け入れを行っている。施設長は、受け入れていく方針である。</p>		<p>ホームとしての一定の重度化や終末期の基準を作成し今後の対応について説明し理解と協力を得ていく取り組みを行っていくことが望まれる。受け入れの基準に関しては、職員と良く話し合い、職員が不安なくターミナルケアを行うことが出来るようにしていく取り組みも期待する。</p>
<p>・その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p>					
<p>1. その人らしい暮らしの支援</p>					
<p>(1) 一人ひとりの尊重</p>					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報取り扱いをしていない</p>	<p>利用者一人ひとりに対する言葉かけや対応に注意している。利用者一人ひとりが誇りと尊厳をもって生活が継続できるように職員同士の情報交換や注意を促している。</p>		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>日々の生活の中で決まった計画は作らず、利用者一人ひとりの身体状況や希望・気分に合わせて暮らしが出来るように支援している。</p> <p>ホーム全体の中で利用者が穏やかに過されている雰囲気を感じられる。</p>		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>食事は夕食のみ特養からの配食を受け朝食・昼食は、ホームで作っている。利用者の身体能力や希望などで下ごしらえや調理・味付け・配膳・後片付けなどを実施してもらえるように支援している。外食で回転寿司を食べに行くこともある。</p>		
23	57	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>毎日入浴希望の方には出来る限り希望に添えるように体調を見ながら実施している。利用者の希望を聞き同性介助を行っている。出来る限りホームで入浴を行うようにしているが、ADLの低下に伴い利用者への安全性や身体への負担が大きい場合は、特養の特浴を利用している。</p>		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>加齢により今まで出来ていたことが出来なくなってきたが、利用者個々の役割や楽しみごと・気晴らしが出来るように支援している。ケアプランに盛り込み利用者個々の楽しみごとが支援できるようにしている。月1回は利用者の希望に合わせお寺参りや食事など外出行事を実施している。</p>		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	近くの観音さまの1日1回のお参りを兼ねた散歩は継続している。		年間行事で、季節や自然が楽しめる外出の機会を持ち、法人内敷地での散歩・希望があれば個別の買物への支援を行っている。できるだけ外気に触れる機会が作れるように配慮している。
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は玄関・フロアーは開放しており、自由に出入りができるようにしている。安全性を確保する為に見守りを強化しており、外へ出て行かれるときは見守りの為に同行している。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回の昼夜想定避難訓練を実施している。水害・地震の際の訓練を検討中である。また、利用者のADLなどの変化に伴い避難方法の問題についても明確にしており検討している。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	朝・昼食は、各フロアーで調理し、夕食は併設の施設より提供をうけてる。利用者一人ひとりの一日の食事摂取総量・水分量を把握している。		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>施設全体が落ち着いた和風の造りになっており、玄関・共有空間には観葉植物・花を飾り、過度な飾り付けがなく親しみのある落ち着いた雰囲気である。リビングは広いガラス窓から自然光が差し込みゆったりと過せる空間になっている。対面式のキッチンを利用者の様子が身近に感じられ、料理の臭い等が、心地よい五感刺激となっている。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、利用者や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室内に馴染の家具等を持ち込み、落ち着いて過ごせるよう支援している。入居者の個性を大切に、居心地よい居室作りになっている。</p>		<p>自然な光りが差し込む居室内に馴染の家具等を持ち込み、入居者の個性を尊重した家庭的で安心して過ごせる生活空間が作られている。</p>

 は、重点項目。